

○福祉心理学科の卒業論文の評価基準と手続き

福祉心理学科では、卒業論文の審査にあたっては、「学位授与の方針」を踏まえて、以下のルーブリック評価基準と手続きに基づいて総合的に判断する。

卒業論文 ルーブリック評価

	90-100 とても優れている	80-90 優	70-80 良	60-70 可	60-0 不可
評価項目	5	4	3	2	1
タイトル	表題が簡にして要を得ている。	表題が要を得ている。	研究内容に照らして概ね適した表題が付与されている。	研究内容に照らしてやや不適切な表題が付与されている。	研究内容に照らして全く不適切な表題が付与されている。
要約	目的、方法、結果、考察を適切に要約し、研究の全体像が一目で把握できるように示されている。	目的、方法、結果、考察を概ね適切に要約し、研究の全体像が把握できるように示されている。	目的、方法、結果、考察をある程度要約し、研究の全体像がおおよそ把握できるように示されている。	目的、方法、結果、考察の要約が不十分であり、研究の全体像を把握することが困難である。	目的、方法、結果、考察の要約が全く不十分であり、研究の全体像を全く把握することができない。
問題	研究目的を示し、その目的と関連づけて国内外の先行研究の概説が多角的に行われている。仮説が提示されている。用語を厳密に定義し、客観的・論理的に論が進められている。	研究目的を示し、その目的と関連づけて国内外の先行研究の概説が行われている。仮説が提示されている。概ね適切に用語の定義が行われている。概ね客観的・論理的に論が進められている。	研究目的を示し、その目的と関連づけて国内の先行研究の概説が行われている。仮説が提示されている。ある程度適切に用語の定義が行われている。ある程度客観的・論理的に論が進められている。	研究目的を示し、その目的と関連づけて国内の先行研究の概説が行われているが、不十分である。仮説が曖昧である。用語の定義に不適切な箇所が認められる。やや客観的・論理的ではない論が進められている。	研究目的が示されていない。先行研究の概説が著しく不足している。仮説が提示されていない。不適切な用語の定義が行われている。全く客観的・論理的ではない論が進められている。
方法	他の研究者が方法の記述を読むだけで追試ができるように詳細に記述されている。独立変数と従属変数が具体的に記述されている。統制された剰余変数が明確に記述されている。結果に影響を与えたと考えられるすべての情報が具体的に記述されている。	他の研究者が方法の記述を読むだけで追試ができるように概ね詳細に記述されている。独立変数と従属変数が概ね具体的に記述されている。統制された剰余変数が概ね明確に記述されている。結果に影響を与えたと考えられる情報が概ね記述されている。	他の研究者が方法の記述を読むだけで追試ができるようにある程度適切に記述されている。独立変数と従属変数がある程度具体的に記述されている。統制された剰余変数がある程度明確に記述されている。結果に影響を与えたと考えられる情報がある程度記述されている。	他の研究者が方法の記述を読むだけで追試ができるように方法が記述されているが不十分である。独立変数と従属変数の記述が曖昧である。統制された剰余変数についての記述が不足している。結果に影響を与えたと考えられる情報がほとんど記述されていない。	他の研究者が方法の記述を読むだけで追試ができるように方法が記述されていない。独立変数と従属変数が記述されていない。統制された剰余変数について記述されていない。結果に影響を与えたと考えられる情報が全く記述されていない。
結果	研究目的に照らして適切な統計的手法で加工、集約、検定されたデータが提示されている。事実のみが記述されている。研究仮説に都合のよい結果だけではなく、不都合な結果も公平に記述されている。	研究目的に照らして概ね適切な統計的手法で加工、集約、検定されたデータが提示されている。事実のみが記述されている。研究仮説に都合のよい結果だけではなく、不都合な結果も概ね公平に記述されている。	研究内容に照らしてある程度適切な統計的手法で加工、集約、検定されたデータが提示されている。研究仮説に不都合な結果についてあまり記述されていない。	研究方法に照らして不適切な統計的手法で加工、集約、検定されたデータが一部提示されている。事実ではない記述が一部認められる。研究仮説に不都合な結果についてほとんど記述されていない。	研究方法に照らして、不適切な統計的手法で加工、集約、検定されたデータがかなり提示されている。事実ではない記述が数多く認められる。研究仮説に不都合な結果について全く記述されていない。
考察	研究目的がどこまで達成され、仮説がどこまで検証されたかを、結果に基づいて議論している。専門知識を効果的に用いて研究結果の解釈が行われている。例外的な発見を説明したり、他の研究の結果や解釈との比較が行われている。議論や解釈が根拠や理由を明示しながら行われている。	研究目的がどこまで達成され、仮説がどこまで検証されたかを、概ね結果に基づいて議論している。専門知識を用いて概ね適切な研究結果の解釈が行われている。例外的な発見を説明したり、他の研究の結果や解釈との比較が概ね適切に行われている。議論や解釈が根拠や理由を明示しながら概ね適切に行われている。	研究目的がどこまで達成され、仮説がどこまで検証されたかを、ある程度結果に基づいて議論している。専門知識を用いてある程度適切な研究結果の解釈が行われている。例外的な発見を説明したり、他の研究の結果や解釈との比較がある程度適切に行われている。議論や解釈が根拠や理由を明示しながらある程度適切に行われている。	研究結果がどこまで到達され、仮説がどこまで検証されたのかについての議論が不足している。専門知識を用いた研究結果の解釈が認められる。例外的な発見を説明したり、他の研究の結果や解釈との比較がほとんど行われていない。議論や解釈が根拠や理由を明示しながら行われていない。	研究目的がどこまで達成され、仮説がどこまで検証されたのかについての議論が全く行われていない。専門知識を用いた研究結果の解釈が不適切である。例外的な発見を説明したり、他の研究の結果や解釈との比較が全く行われていない。議論や解釈が全く根拠や理由を明示しながら行われていない。
引用文献	『心理学研究』などの指定された書式に忠実に基づいて、論文に引用された全ての文献、資料が文末にリストされている。論文内での引用方法、引用箇所と文献との対応、表記方法などが適切である。	『心理学研究』などの指定された書式に概ね忠実に基づいて、論文に引用された全ての文献、資料が文末にリストされている。論文内での引用方法、引用箇所と文献との対応、表記方法などが概ね適切である。	数カ所の誤りは認められるが、『心理学研究』などの指定された書式にある程度忠実に基づいて、論文に引用されたほぼ全ての文献、資料が文末にリストされている。論文内での引用方法、引用箇所と文献との対応、表記方法などに僅かに誤りが認められる。	『心理学研究』などの指定された書式に基づいて作成されているが、誤りが多数認められる。論文に引用された文献、資料が文末にリストされているが、かなりの不足が認められる。論文内での引用方法、引用箇所と文献との対応、表記方法などに不適切な箇所が多数認められる。	『心理学研究』などの指定された書式に基づいて作成されているが、誤りが多数認められる。論文に引用された文献、資料が文末に全くリストされていない。論文内での引用方法、引用箇所と文献との対応、表記方法などが全く適切に行われていない。
論文の構成・書式	『心理学研究』などの指定された書式に忠実に基づいて作成されている。誤字脱字や文法上の誤りがない。規定の文章量を満たしている。	『心理学研究』などの指定された書式に基づいて概ね忠実に基づいて作成されている。誤字脱字や文法上の誤りがほとんど認められない。規定の文章量を満たしている。	『心理学研究』などの指定された書式にある程度基づいて作成されている。誤字脱字や文法上の誤りが数カ所認められる。規定の文章量を概ね満たしている。	『心理学研究』などの指定された書式に基づいて作成されているが不適切な箇所が認められる。誤字脱字や文法上の誤りが多数認められる。規定の文章量からやや逸脱が認められる。	『心理学研究』などの指定された書式に基づいて作成されていない。誤字脱字や文法上の誤りがかなり多数認められる。規定の文章量から著しく逸脱している。
研究倫理	研究対象者への倫理的配慮が適切に行われている。	研究対象者への倫理的配慮が概ね適切に行われている。	研究対象者への倫理的配慮がある程度適切に行われている。	研究対象者への倫理的配慮がやや不足している。	研究対象者への倫理的配慮が全く不足している。
オリジナリティ	テーマ設定、方法、考察のいずれにおいても優れたオリジナリティがある。	テーマ設定、方法、考察のいずれにおいても優れたオリジナリティがある。	テーマ設定、方法、考察のいずれにおいても、ある程度オリジナリティがある。	テーマ設定、方法、考察のいずれにおいても、不十分なオリジナリティがある。	テーマ設定、方法、考察のいずれにおいても、オリジナリティが全くない。
福祉心理学的観点 (well-being)	福祉心理学的観点に基づいて、優れた示唆や提起(査定や介入、予防法、解決法など)を行い、社会に貢献しようとしている。	福祉心理学的観点に基づいて、概ね適切な示唆や提起(査定や介入、予防法、解決法など)を行い、社会に貢献しようとしている。	福祉心理学的観点に基づいて、ある程度の示唆や提起(査定や介入、予防法、解決法など)を行い、社会に貢献しようとしている。	福祉心理学的観点に基づいて、不十分な示唆や提起(査定や介入、予防法、解決法など)を行い、社会に貢献しようとしている。	福祉心理学的観点に基づいて、示唆や提起(査定や介入、予防法、解決法など)がなく、社会に貢献しようとしていない。
口頭試問	口頭で内容を正確に説明できる。質疑に対して、分析結果に基づき論理的かつ整合性のある回答を行うことができる。	口頭で内容を概ね適切に説明できる。質疑に対して、分析結果に基づき概ね論理的かつ整合性のある回答を行うことができる。	口頭で内容をある程度説明できる。質疑に対して、分析結果に基づきある程度論理的かつ整合性のある回答を行うことができる。	口頭での内容説明が不十分である。質疑に対して、分析結果に基づき論理的かつ整合性のある回答を十分に行うことができない。	口頭で内容を全く説明できない。質疑に対して、分析結果に基づき論理的かつ整合性のある回答を全く行うことができない。

【手続き】

主査と副査の複数教員による口述試問を行い、主査と副査の合議によって可否を判定し、評価点を決める。